

15

誰もがいきいきと輝く地域社会実現プロジェクト

概要

年齢や性別、障害の有無にかかわらず、あらゆる人々の人権が尊重され、県民一人ひとりが自分らしく活躍することができるよう、様々な活動の機会づくりや気運醸成などの取組を進め、誰もがいきいきと輝く地域社会を実現する

重点策

- 53 県民活動の活発化による地域の絆づくりの推進
- 54 女性が輝く地域社会の実現
- 55 高齢者・障害者等が活躍する地域社会の実現
- 56 人権等に関する取組の推進
- 57 豊かな心身を育む文化・スポーツの振興

(1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★(目標を達成)		
	★★★★ (計画を上回る)	5	プロボノワーカーバンクの登録者数(累計) 等
	★★★ (ほぼ計画どおり)	5	「あいかさねっと」等を通じたボランティア活動マッチング数 等
	★★ (計画を下回る)	2	若年層の参加割合が3割以上を占める県民活動団体の割合 等
	★ (計画から大幅に遅れ)		

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらでもない	そう思わない
県民実感度調査(%)	ボランティア活動やスポーツ・文化活動などで、誰もが活躍できる社会づくりが進んでいると思いますか。	18.9	53.3	25.3
	一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか。	27.1	50.8	19.4
	男女共同参画・ジェンダー平等の実現に向けた取組が進んでいると思いますか。	18.0	52.4	26.4

(3) 主な取組と成果

◆県民活動の活発化による地域の絆づくりの推進

- 「プロボノワーカーバンク」の創設・運営や「プロボノコンシェルジュ」の配置により、県民活動団体が年間を通じてプロボノを利用できる体制を整備し、**プロボノの活用により、団体の人材育成・確保及び財政基盤の強化**を促進。

プロボノワーカーバンクの登録者数(累計) 70人(R5年度)

◆女性が輝く地域社会の実現

- 「やまぐち女性の活躍推進事業者宣言制度」を通じた企業の自主的な取組の促進や、「女性管理職アドバイザー制度」による女性社員への相談支援などに取り組んだほか、産学公の団体代表者で構成する「やまぐち女性活躍応援団」による、市町や大学と連携した「地域シンポジウム」の開催を通じて、地域から、**女性活躍の取組を普及・拡大**。

やまぐち女性の活躍推進事業者数(累計) 238事業者(R4年度)→**278事業者**(R5年度)

◆高齢者・障害者等が活躍する地域社会の実現

- 高齢者が地域における日常生活支援の担い手として活躍できるよう、地域支援事業を実施する市町と老人クラブとのマッチング会議を開催するなど、**高齢者の多様で主体的な社会参画**を促進。

マッチング会議への参加老人クラブ数(累計) 85クラブ(R4年度)→**139クラブ**(R5年度)

- 障害のある子どもとない子どもの交流イベントを通じた幼少期からの障害理解を促進。
あいサポらんど参加者数 2回開催・59名(R4年度)→2回開催・**151名**(R5年度)

◆人権等に関する取組の推進

- 固定的な性別役割分担意識の改革を図り、さらなる男性の家事・育児等への参画を促進するため、**男性の家事・育児に関する啓発動画コンテスト**を開催するとともに、社会情勢を踏まえた男女共同参画に関する新たなテーマについて、県民の理解増進を図るため、パワーアップセミナーを開催。

ポジティブ・アクションに取り組む事業所の割合 31.3%(R2年度)→**33.7%**(R5年度)

◆豊かな心身を育む文化・スポーツの振興

- 「ジブリパークとジブリ展」など美術館での企画展や様々な文化芸術を体験できる交流イベントの開催、地域で文化芸術活動を行う指導者等を対象とした研修会の実施、文化人材バンクを活用した活躍の場の創出・拡充等により、**文化芸術に親しむ環境づくりの取組**を推進。

県立美術館の入館者数 15.4万人(R4年度)→**28.1万人**(R5年度)

文化人材バンク登録者の発表機会の創出件数 10件(R4年度)→**14件**(R5年度)

- 県民誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりに向け、市町やスポーツ関係団体と連携し、気軽に参加・体験・観戦できる**スポーツイベントの開催支援**や、スポーツ推進の拠点となる**総合型地域スポーツクラブ**を普及・育成

県立スポーツ施設の年間利用者数 999千人(R4年度)→**1,786千人**(R5年度)

- **学校部活動の円滑な地域連携・地域移行**に向け、国の実証事業により6市の取組を支援するとともに、指導者・団体等の情報を一元化して提供できる人材バンク及びポータルサイトの整備や、指導者や関係団体に対する研修会を実施

(4) 総評

総評

年齢や性別、障害の有無にかかわらず、あらゆる人々の人権が尊重され、県民一人ひとりが自分らしく活躍することは重要であり、引き続き、障害等への理解のさらなる促進を図るとともに、豊かな心身を育む文化・スポーツの振興や様々な活動の機会づくりが求められている。

(5) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

◆県民活動の活発化による地域の絆づくりの推進

- 山口きらら博記念公園でのイベントの開催や、高校・大学等と連携したボランティア体験会等の開催により、県民活動への理解と参加の促進を図るとともに、プロボノの活用による県民活動団体の基盤強化や、団体が多様な主体と協働できる体制を整備する必要がある。

◆女性が輝く地域社会の実現

- 事業所における女性管理職の割合やポジティブ・アクションに取り組む事業所の割合は、増加傾向にあるものの伸び悩んでいることから、「やまぐち女性の活躍推進事業者宣言制度」を通じた企業の自主的な取組の促進や、「女性管理職アドバイザー制度」による女性社員への相談支援を充実させるとともに、「やまぐち女性活躍応援団」による、市町や大学と連携した「地域シンポジウム」の開催を通じて、地域から女性活躍の取組をより一層普及・拡大させる必要がある。

◆高齢者・障害者等が活躍する地域社会の実現

- 高齢者が地域を支える担い手としての活動に積極的に参加できる環境を整備することにより、高齢者が活躍できる地域社会づくりをさらに推進することが必要である。

- 未来を担う若い世代の障害理解が進むよう、児童向け研修教材等を活用した小学校授業でのあいさポーター研修の積極的な実施の推進が必要である。

◆人権等に関する取組の推進

- 固定的な性別役割分担意識の見直しや人権尊重を基盤とした男女平等感の形成などが大きな課題となっており、男女共同参画・ジェンダー平等の実現に向けた分かりやすい広報や意識啓発、男性の家事・育児参画の促進に取り組む必要がある。

◆豊かな心身を育む文化・スポーツの振興

- 県民の文化芸術に触れる機会の充実や多様な文化芸術のニーズに対応するため、県民誰もが文化芸術に親しむ場づくりや人材の確保・育成など、地域の文化芸術環境の充実強化が必要である。
- コロナ禍で落ち込んだ県民のスポーツ活動の回復や、県民の多様なスポーツニーズに対応するため、県民誰もがスポーツに親しむ場づくりや人材の確保・育成など、地域のスポーツ環境の充実強化が必要である。
- 公立中学校の部活動について、少子化の中でも、将来にわたり本県の子どもたちがスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保していくため、学校部活動の地域連携・地域移行に向けた取組を推進する必要がある。

(参考) 令和6年度の主な新規・拡充取組

拡 プロボノによる県民活動団体の基盤強化事業

団体の基盤強化を支援するため、年間を通じてプロボノを利用できる体制を整備するとともに、プロボノ交流会や活動報告会の開催により、取組の普及啓発やノウハウの共有、プロボノの定着につなげるネットワークの構築を図る。